



写真1 小麦の赤かび病（左：穂の症状、右：葉枯症状）

表1 小麦の赤かび病に対する有効薬剤

薬剤	希釈 倍数	赤かび病		備考
		(DON濃度低減)	(ニバーレ菌)	
テブコナゾール水和剤F	2000	●(少量散布も●)		赤さび病も●
メコナゾール水和剤	2000	●(少量散布も●)		赤さび病も●
チオファネートメチル水和剤	1500	●(少量散布も●)		ニバーレ菌で耐性菌
イミノクタジン酢酸塩・チオファネートメチル水和剤F	800～1000	●	●	出穂後1回以内
イミノクタジン酢酸塩液剤	1000	●	●	出穂後1回以内
ジエトフェンカルブ・ベノミル水和剤	1000	●	●	
	1500		●	
キャプタン・テブコナゾール水和剤	500	●	●	赤さび病も●
キャプタン水和剤	600～1000		●	

3. 留意点

- (1) ニバーレ菌による減収リスクの高い地域における小麦の赤かび病および葉枯症状に対する防除対策として活用してください。

(成績名： *Microdochium nivale* による秋まき小麦の赤かび病と葉枯症状の防除対策)

もう少し詳しい情報はこちら
(スマホでの閲覧はお勧めしません)

検索は、「農業技術情報広場、一般課題 H28」で



本技術内容についての問い合わせ先
道総研十勝農業試験場
電話 (0155) 62-2431
E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp